



幽霊大名



音楽 照 橋 監 脚 原 金

★スタッフ★

製作 辻 久一
監督 野村 胡堂
脚本 八住 利雄
演出 弘津 三男
加藤 行正
加藤 幸夫
渡辺 通人

美術 上里 義三
スチール 松浦 健雄
製作主任 安達 健雄

★キャスト★

銭形平次 長谷川 一夫
千之助 市川 雷蔵
お村 神代 錦
お静 井川 邦子
合 長谷川 裕見子

おえん 八五郎
たより 依田 義賢
源五郎 依田 義賢
源五郎 依田 義賢

村田知英子 中村 玉緒
中村 玉緒 中村 玉緒
中村 玉緒 中村 玉緒

金島景之丞 横山 文彦
横山 文彦 横山 文彦
横山 文彦 横山 文彦

下引 小 坊 主
小 坊 主 小 坊 主
小 坊 主 小 坊 主

智成の武士 下引 小 坊 主
下引 小 坊 主 下引 小 坊 主
下引 小 坊 主 下引 小 坊 主

藤井 寛志 小林 健太郎
小林 健太郎 小林 健太郎
小林 健太郎 小林 健太郎

千瀬登四郎 戸村 昌子
戸村 昌子 戸村 昌子
戸村 昌子 戸村 昌子

高原 朝子 小林 加奈枝
小林 加奈枝 小林 加奈枝
小林 加奈枝 小林 加奈枝



★作品解説★

★長谷川一夫の銭形平次は既に一定した信用と興業的な安定性をもったシリーズものとして定評があり、この「幽霊大名」は原作者野村胡堂が最新新聞に先頃発表、連載して大人気を博した作品である。
★企画は辻久一、原作は先述の通り野村胡堂で、これを八住利雄が脚色し、新人監督弘津三男がメガホンをとった。
★撮影は「花の白虎隊」に続いて牧田正三が当り、録音海軍幸夫、音楽渡辺通人、美術上里義三、照明加藤幸之丞とベテランスタッフで臨んでいる。
★出演は、「鉄火奉行」に次いで長谷川一夫が投げ銭にきって登場し、編中の人気者ガラッパにはユースラスな味を出す渡辺通人が扮し、正か邪か二つの顔の幽霊大名に市川雷蔵が扮して出演するほか、神代錦の側女、村田知英子の妹、長谷川裕見子の妹、井川邦子の平次女房お静、岡西京太郎の人氣者中村胡堂の妹中村玉緒の謎の小娘と異色ある豪華な顔合せを展開し、
★これを助けて、柳本二郎、沢村国太郎、香川良介、東木忠、東良之助、富田仲太郎、大邦一公、金剛麗子などが観演の火花を散らしている。
★内容は、大名の家に生まれた双生児の兄弟が、性格境遇を異にするため、重大なお家騒動が起り、領内の民衆の生活のみならず、江戸府内の治安まで大混乱に陥る。その危機を救うため銭形平次と八五郎が数々の苦難をのりこえての活躍を描くもので、そのスケールの大きさと起伏の多い筋立は秋一番の大衆娯楽品として大いに期待されるべきものである。



[illegible]

劇評家大塚邦子氏の「演藝界の内幕」より

イタちゃんとか神代さんというは、アメリカンに憧れた若者で芝居の思ひ入れが強い。不器用なところも、でも情熱があるからか、何でもやる。ところが、今度六人の青年時代物語（新人）第三巻に出てくるといふ。彼自身の希望の通り、長谷川と共役して一日の撮影を終るまで全精力をこめてやらせようとする。

● 寶珠のツレ
宝珠のツレといふのは、新田の女優（黒澤千鶴）のことであらう。彼女の水色髪は長いので、頭巾をかぶって出たとき、口々に「おれは女だ」と叫び出す。これはその素行の上程である。

長谷川 神代さんはずいぶん背が高いですね。どれくらいあるの？
神代 ええ、ノッパアとして五尺三寸八分なんです。ですから、寶珠では殆ど男役ばかりやつて来しました。それが、今度初めて映画に出てるわけだから先生の平次を口説く役なんですよもの。お色氣というものがないと出ませんかと。
うか。女性の何かも呑み込んでいらしよ先生の前では、なんだかとても恥かしさくて……

長谷川 でも、神代さんの寶珠も古いな。ぼくの映画界入りとどちらが先かな？
神代 まあ、先生つたらヒドイ。私まだ寶珠へ入らない時分から、先生のファンでしたもの。寶珠の大劇場の開りに映畫館があつて大映と東寶の映画がかかつていたので、今でも先生のにお慕いは欠かさず拜見して居りますのよ。ですが、今度も決して初めてのお顔にかかつたような気がいたしませんの。

長谷川 ばくも最近では、『實録歌舞伎』の『巖山』で、神代さんの岩崎を見せて貰つたんですよ。今度の『幽霊大名』で神代さんのやる村岡の役は、性格は違つても、サマはお局様である感じがしたのであら、きつと成功すると思いませんか。

神代 いえ、まだ、初めからねんなおことがましいことは決して思つていません。長谷川先生と一緒に映画へ出ていきたいだけでなく光榮と思つているんです。初期映画の方から今度のお話を伺ったとき、夢ではないかしらと思つた位ですもの……

長谷川 はい、光榮はこちらこそですよ。ぼくの娘（長谷川季子）なんか、寶珠で神代さんとはいえませんが、まるで姉妹みたいになってますからね。

神代 アラ、先生、イヤですね、またおかしいになつて……。何しろ、二十何年寶珠から一歩も出てない人間知らずですから、本當によろしく御指導をお願い致します。

長谷川 えい、こちらこそ、せい／＼お手やわらかに……。

平次捕物袋があればぞ、これが一番面白くて一番偉作だと大評判！
映画の半分までは事實になっているのに謎が解けましたらあなたには捕物名人です。

一人、二人、恋女房お静の命も、平次の命も無い／＼



投げ銭苦心の長谷川一夫

銭形平次捕物控

「幽霊大名」の裏ばなし

初めて女に——「幽霊大名」に寶塚から出演する神代錦は、映畫に出演するのも初めてなら、今迄寶塚の舞臺でもつばら男役ばかりやつていたので、女役になるのこれが生れて初めてという變り種。クランク開始の日に「神代さんの女姿が見られる」というので、ワツへ撮影所内の神代ファンがセツトとつめかけたところ、あてやかな奥女中の村岡に扮した彼女「女になると勝手がわからなくて……」と恥しそう。

▼安全な投げ銭——銭形平次の武器はご存じの如く投げ銭である。左手に錢の通したのを持つて、右手で抜き乍ら矢繼早やに投げる。しかしこんな投げ銭なんてものは、勿論原作者野村胡堂氏の創作で、銭形平次捕物控にも投げ銭の説明なんて書いてない。だから長谷川は平次をやり出してから投げ銭の扱い方に随分苦心したそうだ。さてそうした平次投げ銭の一場面。覆面の侍が逃げる。平次が追つかけて錢を投げる。これを眞正面からキヤメラがとらえる。テストがすんで「サア本番！」となると、今迄キヤメラの背後で見ていた見學者たちがサーと横へ退く長谷川笑つて「大丈夫です。投げやしません。投げる眞似をするだけです。でも映畫になると、本當に投げたように見えるんです」





幽霊大名

銭形半次捕物控



日本橋・銀座二ノ十 水野印刷株式会社内 ウィークリー出版社 電話 一三八五・二三四八・二六三一・九・三四